



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月4日

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7238 URL <https://www.akebono-brake.com/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 CEO (氏名)宮地 康弘  
 問合せ先責任者 (役職名)事業管理部長 (氏名)小野崎 正史 (TEL) 048-560-1501  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	34,509	△2.0	190	△90.8	3,239	64.7	2,892	91.1
2022年3月期第1四半期	35,218	△1.7	2,058	—	1,967	—	1,513	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,309百万円(△40.3%) 2022年3月期第1四半期 3,869百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	21.65	6.09
2022年3月期第1四半期	11.33	3.38

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	143,844	51,209	30.8
2022年3月期	139,674	48,901	30.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 44,264百万円 2022年3月期 42,582百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	152,000	12.2	3,000	△29.3	2,000	△67.1	100	△97.6	0.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	135,992,343株	2022年3月期	135,992,343株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	2,408,468株	2022年3月期	2,413,809株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	133,579,843株	2022年3月期1Q	133,578,703株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		0.00	—	—	—

(注) 1. A種類株式の発行数は20,000株であり、2019年9月30日に発行しております。

2. 2023年3月期の期末の配当予想額は、現時点では未定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	12
3. 補足情報	
2023年3月期 第1四半期連結累計期間 決算概要	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社第1四半期(2022年4月1日～2022年6月30日)における当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な半導体不足や、中国のロックダウンによる部品供給不足などのサプライチェーン問題に起因する完成車メーカーの減産に加え、地政学的リスクの増大などによる原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間(注)における当社グループの業績は、半導体不足や新型コロナウイルスの感染再拡大に起因するサプライチェーン問題による完成車メーカーの工場稼働停止により受注が減少し、売上高は345億円(前年同期比2.0%減)となりました。

利益面では、受注減少による利益の減少を挽回するべく固定費の削減や労務費の適正化などに努めたものの、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰が大きく影響し、営業利益は2億円(前年同期比90.8%減)となりました。経常利益は、為替相場の変動により当社が保有する関係会社への外貨建ての貸付金に対して発生した為替差益などで32億円(前年同期比64.7%増)となりました。

特別損益については、閉鎖したフランスの研究開発拠点の不動産売却により固定資産売却益3億円を計上しました。これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億円(前年同期比91.1%増)となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減	増減率
売上高	352	345	△7	△2.0%
営業利益	21	2	△19	△90.8%
経常利益	20	32	13	64.7%
税金等調整前四半期純利益	22	35	13	61.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	15	29	14	91.1%

地域セグメントごとの業績は次の通りです。

(単位：億円)

	売上高				営業利益			
	前期	当期	増減	増減率	前期	当期	増減	増減率
日本	167	154	△13	△8.0%	16	1	△15	△94.3%
北米	82	85	3	3.4%	△7	△4	3	－%
欧州	37	32	△6	△15.4%	1	△3	△4	－%
中国	31	29	△2	△5.1%	2	△0	△2	－%
タイ	18	17	△1	△3.3%	3	2	△1	△36.8%
インドネシア	46	54	8	16.4%	5	5	△0	△0.6%
連結消去	△29	△26	4	－%	0	1	0	248.6%
連結	352	345	△7	△2.0%	21	2	△19	△90.8%

## ① 日本

前期から継続する半導体不足に加え、中国のロックダウンによる部品供給の停滞で、完成車メーカーが減産を余儀なくされた影響により、売上高は154億円(前年同期比8.0%減)となりました。

利益面では、材料スクラップ率改善や生産性向上などの合理化による利益の確保に努めたものの、売上高減少に加え、原材料価格やエネルギーコストの市況高騰などにより、営業利益は1億円(前年同期比94.3%減)となりました。

② 北米

半導体不足による完成車メーカーの減産影響の継続があった一方で、補修品ビジネスにおいては市場における摩擦材製品の交換需要増加や為替相場の円安影響により、売上高は85億円(前年同期比3.4%増)となりました。

利益面では、現地通貨ベースでの売上高減少による影響に加え、原材料価格上昇の影響などがありましたが、一部それらの上昇分を販売価格に転嫁したこと及び補修品ビジネスの売上増加などにより、営業損失は4億円(前期は営業損失7億円)となりました。

③ 欧州

ウクライナ情勢の影響や半導体不足、サプライチェーン問題による完成車メーカーの減産や、フランスのアラス工場の6月末の閉鎖による影響などにより、売上高は32億円(前年同期比15.4%減)となりました。

利益面では、売上高減少による利益の減少を補うための経費削減、生産性向上などの合理化に努めましたが、原材料価格やエネルギーコストの上昇影響などにより、営業損失は3億円(前期は営業利益1億円)となりました。

④ 中国

主要な日系完成車メーカー向け製品の受注の減少や新型コロナウイルス感染再拡大の影響などにより売上高は29億円(前年同期比5.1%減)となりました。

利益面では、人員の適正化や生産性向上などの合理化に努めたものの、受注減少による利益の減少が大きく影響し、営業損失は6百万円(前期は営業利益2億円)となりました。

⑤ タイ

主力製品の受注は回復してきましたが、日系完成車メーカーのモデルチェンジによる生産終了、半導体不足による完成車メーカーの減産影響や補修用摩擦材製品の受注減少があり、売上高は17億円(前年同期比3.3%減)となりました。

利益面では、材料スクラップ率改善や生産性向上などの合理化や経費削減に取り組んだものの、補修用摩擦材製品の売上高減少や市況高騰などの影響により、営業利益は2億円(前年同期比36.8%減)となりました。

⑥ インドネシア

一部半導体不足の影響はあったものの、政府による新車購入時の奢侈税免除・減税効果に加え、小型乗用車用製品の受注が好調なこともあり、売上高は54億円(前年同期比16.4%増)と増収となりました。

利益面では、売上高増加による利益の増加があったものの、市況高騰や前期に発生したインドネシア工場火災によるエクストラ費用の発生があり、営業利益は5億円(前年同期比0.6%減)となりました。

(注) 当第1四半期連結累計期間とは

(1) 北米・中国・タイ・インドネシア：2022年1月～2022年3月

(2) 日本・欧州：2022年4月～2022年6月 となります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：億円)

(資産の部)	前期末	当期末	増減	(負債・純資産の部)	前期末	当期末	増減
流動資産	749	776	27	流動負債	318	351	34
現金及び預金	303	293	△10	仕入債務	176	190	14
売上債権	250	266	16	有利子負債	10	14	4
棚卸資産	167	182	16	その他	131	147	15
その他	29	34	6	固定負債	590	575	△15
固定資産	648	663	14	有利子負債	482	477	△4
有形固定資産	466	482	16	その他	109	98	△11
投資有価証券	77	73	△4	負債合計	908	926	19
その他	105	108	3	純資産	489	512	23
総資産	1,397	1,438	42	負債・純資産	1,397	1,438	42

## (資産)

当期末の資産は1,438億円と前期末比42億円の増加となりました。

流動資産は776億円と前期末比27億円の増加となりました。これは主に、円安の影響に加え、新型コロナウイルス感染症に端を発した海上輸送遅延による在庫積み増しやお客様の操業停止などにより棚卸資産が16億円増加したことによるものです。固定資産は663億円と前期末比14億円の増加となりました。これは主に、減価償却費を計上した一方で円安の影響により有形固定資産が16億円増加したことによるものです。

## (負債)

当期末の負債は926億円と前期末比19億円の増加となりました。これは主に、円安の影響に加え、在庫積み増しなどの影響により仕入債務が14億円増加したことによるものです。なお、有利子負債残高492億円から「現金及び預金」を控除したネット有利子負債残高は199億円であります。

## (純資産)

当期末の純資産は512億円と前期末比23億円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が29億円増加したことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当期末の現金及び現金同等物は、前期末比10億円減少の293億円となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	25	39	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	9	△15	△24
計			
(フリー・キャッシュ・フロー)	34	23	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5	△13	△8

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、税金等調整前四半期純利益35億円や減価償却費15億円があった一方で、棚卸資産の増加額△8億円などにより、資金が増加となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、閉鎖したフランスの研究開発拠点の不動産売却などにより有形及び無形固定資産の売却による収入5億円があった一方で、日本・北米・インドネシアを中心とした設備投資により有形及び無形固定資産の取得による支出21億円の計上などにより、資金が減少となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因として、長期借入金の返済による支出6億円、ファイナンス・リース債務の返済による支出2億円及び非支配株主への配当金の支払額4億円などにより、資金が減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、サプライチェーン問題に起因する完成車メーカーの減産に加え、原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇など、為替の変動を含め先行き不透明な状況が続いております。今後、業績予想に修正が必要であると見込まれる場合には速やかに開示いたしますが、現時点の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表した内容から変更はありません。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,303	29,280
受取手形及び売掛金	25,024	26,610
商品及び製品	5,171	5,336
仕掛品	1,918	2,407
原材料及び貯蔵品	9,582	10,506
その他	2,958	3,544
貸倒引当金	△98	△100
流動資産合計	74,856	77,582
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	48,257	49,131
減価償却累計額	△38,331	△38,907
建物及び構築物（純額）	9,926	10,224
機械装置及び運搬具	139,992	143,527
減価償却累計額	△120,820	△124,035
機械装置及び運搬具（純額）	19,172	19,493
土地	13,315	13,334
建設仮勘定	2,430	3,333
その他	22,632	22,901
減価償却累計額	△20,869	△21,097
その他（純額）	1,763	1,804
有形固定資産合計	46,607	48,187
無形固定資産	2,430	2,505
投資その他の資産		
投資有価証券	7,729	7,310
退職給付に係る資産	6,214	6,327
繰延税金資産	672	732
その他	1,167	1,200
投資その他の資産合計	15,782	15,569
固定資産合計	64,818	66,262
資産合計	139,674	143,844

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,623	19,011
1年内返済予定の長期借入金	600	1,150
リース債務	403	297
未払法人税等	493	739
未払費用	6,732	6,761
賞与引当金	1,233	2,124
設備関係支払手形	1,108	755
その他	3,560	4,278
流動負債合計	31,752	35,114
固定負債		
長期借入金	47,790	47,417
リース債務	366	308
役員退職慰労引当金	3	4
退職給付に係る負債	2,506	2,636
繰延税金負債	3,289	3,187
再評価に係る繰延税金負債	1,617	1,617
その他	3,451	2,352
固定負債合計	59,022	57,521
負債合計	90,773	92,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	19,939
資本剰余金	2,366	2,363
利益剰余金	13,423	16,315
自己株式	△1,612	△1,609
株主資本合計	34,116	37,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,082	3,789
土地再評価差額金	3,790	3,790
為替換算調整勘定	△777	△1,610
退職給付に係る調整累計額	1,371	1,287
その他の包括利益累計額合計	8,466	7,255
新株予約権	3	22
非支配株主持分	6,316	6,923
純資産合計	48,901	51,209
負債純資産合計	139,674	143,844

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	35,218	34,509
売上原価	29,735	30,891
売上総利益	5,483	3,619
販売費及び一般管理費	3,425	3,428
営業利益	2,058	190
営業外収益		
受取利息	17	32
受取配当金	95	98
為替差益	131	3,123
その他	39	111
営業外収益合計	281	3,364
営業外費用		
支払利息	213	226
製品補償費	17	13
その他	143	77
営業外費用合計	373	316
経常利益	1,967	3,239
特別利益		
固定資産売却益	321	302
特別利益合計	321	302
特別損失		
固定資産除売却損	6	5
事業構造改善費用	108	20
特別損失合計	114	25
税金等調整前四半期純利益	2,174	3,517
法人税、住民税及び事業税	380	392
法人税等調整額	29	23
法人税等合計	408	415
四半期純利益	1,766	3,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	252	209
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,513	2,892

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,766	3,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	714	△294
為替換算調整勘定	1,438	△400
退職給付に係る調整額	△49	△98
その他の包括利益合計	2,103	△792
四半期包括利益	3,869	2,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,328	1,681
非支配株主に係る四半期包括利益	541	628

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,174	3,517
減価償却費	1,387	1,497
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△230	△181
受取利息及び受取配当金	△112	△130
支払利息	213	226
固定資産除売却損益 (△は益)	△316	△298
売上債権の増減額 (△は増加)	1,346	△686
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,446	△764
仕入債務の増減額 (△は減少)	690	767
その他	283	550
小計	3,987	4,493
利息及び配当金の受取額	112	130
利息の支払額	△211	△226
法人税等の支払額	△225	△166
事業再編による支出	△939	△181
その他	△200	△200
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,525	3,850
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△995	△2,086
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,899	541
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	6	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	910	△1,538
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△226	△644
非支配株主への配当金の支払額	△147	△429
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△113	△188
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△486	△1,261
現金及び現金同等物に係る換算差額	493	△2,074
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,441	△1,023
現金及び現金同等物の期首残高	29,592	30,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,034	29,280

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	14,818	7,889	3,623	3,050	1,664	4,175	35,218	—	35,218
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,918	339	119	16	105	440	2,937	△2,937	—
計	16,736	8,227	3,743	3,066	1,769	4,615	38,155	△2,937	35,218
セグメント利益 又は損失(△)	1,604	△672	117	166	277	546	2,038	20	2,058

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	13,861	8,158	3,037	2,766	1,624	5,064	34,509	—	34,509
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,541	350	131	143	86	307	2,557	△2,557	—
計	15,401	8,508	3,168	2,909	1,710	5,371	37,067	△2,557	34,509
セグメント利益 又は損失(△)	92	△395	△287	△6	175	542	122	69	190

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2023年3月期 第1四半期連結累計期間 決算概要

2022年8月4日

## 1. 連結業績

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (2021. 4～2021. 6)		当第1四半期連結累計期間 (2022. 4～2022. 6)		増減	増減率
売上高	(100. 0)	35, 218	(100. 0)	34, 509	△709	△2. 0%
売上総利益	(15. 6)	5, 483	(10. 5)	3, 619	△1, 865	△34. 0%
営業利益	(5. 8)	2, 058	(0. 6)	190	△1, 868	△90. 8%
経常利益	(5. 6)	1, 967	(9. 4)	3, 239	1, 273	64. 7%
特別損益		208		278	70	33. 8%
税前四半期純利益	(6. 2)	2, 174	(10. 2)	3, 517	1, 343	61. 8%
法人税等・調整額		408		415	7	1. 7%
非支配株主に帰属する四半期純利益		252		209	△43	△17. 1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	(4. 3)	1, 513	(8. 4)	2, 892	1, 379	91. 1%
総資産	(前期末)=2022年3月期	139, 674	(当期末)	143, 844	4, 170	3. 0%
純資産	(前期末)	48, 901	(当期末)	51, 209	2, 308	4. 7%
自己資本	(前期末)	42, 582	(当期末)	44, 264	1, 682	4. 0%
自己資本比率	(前期末)	30. 5%	(当期末)	30. 8%	0. 3%	
現預金	(前期末)	30, 303	(当期末)	29, 280	△1, 023	
有利子負債	(前期末)	49, 159	(当期末)	49, 172	13	
ネット有利子負債	(前期末)	18, 856	(当期末)	19, 892	1, 036	
ネットD/Eレシオ	(前期末)	0. 44倍	(当期末)	0. 45倍	+0. 01倍	
営業CF		2, 525		3, 850	1, 326	
(内数：減価償却費)		(1, 387)		(1, 497)	(110)	
投資CF		910		△1, 538	△2, 448	
(内数：設備投資)		(△995)		(△2, 086)	(△1, 092)	
フリーCF		3, 435		2, 312	△1, 122	
財務CF		△486		△1, 261	△775	
連結子会社数	(前期末)	19社	(当期末)	19社	—	
期中平均レート	USD	USD 107. 2円	USD	USD 117. 8円	10. 6円	
	EUR / CNY	EUR 132. 4円/ CNY 16. 5円	EUR 138. 8円/ CNY 18. 6円	6. 3円/2. 1円		
	THB / IDR	THB 3. 5円/ IDR 0. 008円	THB 3. 6円/ IDR 0. 008円	0. 0円/0. 001円		

## 2. 地域別業績

(単位：百万円)

		前第1四半期連結累計期間 (2021. 4～2021. 6)		当第1四半期連結累計期間 (2022. 4～2022. 6)		増減	増減率	為替換算 影響
売上高	日本	16, 736	15, 401	△1, 335	△8. 0%	—		
	北米	8, 227	8, 508	280	3. 4%	769		
	欧州	3, 743	3, 168	△575	△15. 4%	144		
	中国	3, 066	2, 909	△157	△5. 1%	331		
	タイ	1, 769	1, 710	△59	△3. 3%	19		
	インドネシア	4, 615	5, 371	756	16. 4%	453		
	連結消去	△2, 937	△2, 557	380	—	—		
	連結	35, 218	34, 509	△709	△2. 0%	1, 716		
営業利益	日本	9. 6%	1, 604	0. 6%	92	△1, 512	△94. 3%	—
	北米	—	△672	—	△395	277	—	△36
	欧州	3. 1%	117	—	△287	△404	—	△13
	中国	5. 4%	166	—	△6	△172	—	△1
	タイ	15. 7%	277	10. 2%	175	△102	△36. 8%	2
	インドネシア	11. 8%	546	10. 1%	542	△3	△0. 6%	46
	連結消去	—	20	—	69	49	248. 6%	—
	連結	5. 8%	2, 058	0. 6%	190	△1, 868	△90. 8%	△2